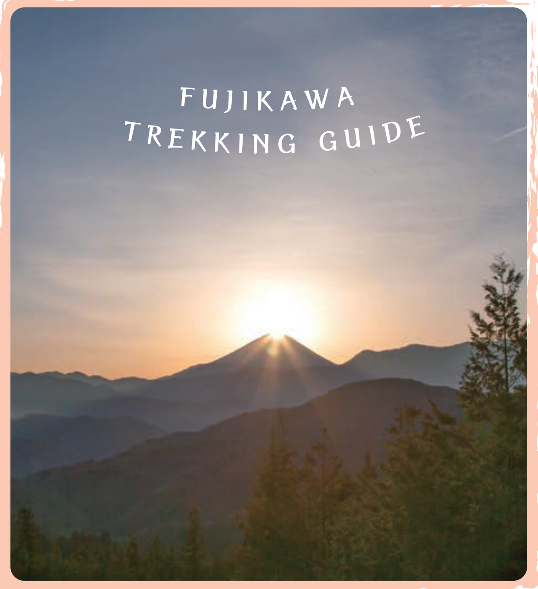
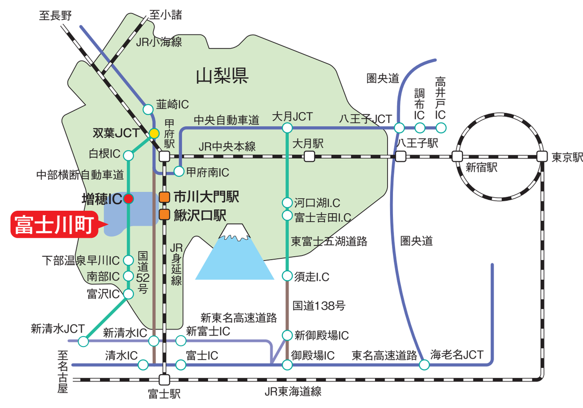


ACCESS INFORMATION



■マイカー利用の場合

［東京方面］調布IC（中央自動車道・約1時間20分）→
双葉JCT（中部横断自動車道・約30分）→増穂IC

［名古屋方面］名古屋IC（新東名高速道路・約2時間）→
新清水JCT（中部横断自動車道・約50分）→増穂IC

■電車利用の場合

［東京方面］新宿（JR中央本線特急・約1時間30分）→
甲府（JR身延線特急・約25分）→市川大門または鰍沢口

［名古屋方面］名古屋（JR東海道新幹線・約1時間）→
静岡（JR東海道本線・約35分）→
富士（JR身延線特急・約1時間20分）→鰍沢口または市川大門

動画で見る
富士川町

FUJIKAWA
TOWN
INFORMATION

富士川町役場産業振興課
〒400-0592 山梨県南巨摩郡富士川町 天神中條1134
TEL0556-22-7202　FAX0556-22-5290
https://www.town.fujikawa.yamanashi.jp/

穂積

Hozumi Area

高村光太郎も愛した うつくしき里を歩く

奇跡の自然現象「ダイヤモンド富士」を美しく望み、日出づる里と呼ばれる。昔から良質な柚子の里としても有名。晩秋に鈴なりの柚子が黄金に輝き、一帯を芳しい香が包む。昭和17年、この地を訪れた高村光太郎の心をとらえた「うつくしきもの」を、自分なりに探して旅してみよう。





高村光太郎文学碑

新富嶽百景に選定される展望広場に建つ文学碑には、『智恵子抄』で有名な「高村光太郎」の直筆で「うつくしきもの　ミつ」と刻まれている。"ミつ"は「満ちている」と「3つある」の意味にもとれ、穂積村を訪れた光太郎を感動させた「富士山、柚子、人の心の清らかさ」のことと考えられる。富士山から日の出が登る「ダイヤモンド富士」のビューポイントでもある。



懸腰寺法論石霊場

その昔、甲州布教に訪れた日蓮聖人と地元の真言宗の高僧、善智法印が法論を闘わせた大石が残る。巨石を空中に縛り留めてみせた日蓮に負けた法印が後に改宗したのがあじさい寺「妙法寺」、両寺あわせて巡るのもオススメ。



小室山妙法寺

通称「あじさい寺」。杉林に囲まれた荘厳な山寺が色とりどりの淡い花色に彩られる情景は見事。言い伝えでは693年に役行者により開山、後に日蓮聖人と善智法印と法論により真言宗から日蓮宗に改宗。総欅造りの総門、県内最大級の木造の三門など圧巻。約1万株というあじさいが咲きほころぶ6月下旬「あじさい観賞ウイーク」を開催し、穂積の柚子を使った出店も並ぶ。

富士山を望む里山を黄金色の小さな太陽が彩る光景は感動モノ。ゆず狩り体験もおすすめ。柚子はビタミンCやペクチンが豊富!



日出づる里活性化組合

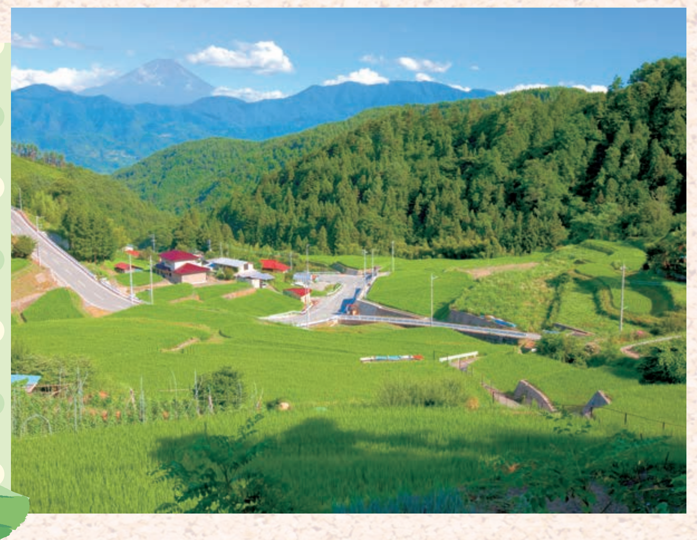
特産の香り高い「穂積の柚子」をたっぷり使った加工品を直売。ゆずぽん酢、ゆず絞り、ゆずジャム、ゆずドレッシング等の他、絶品のゆずうどんは柚子を生地に練りこんだモチモチ食感。イベント限定で提供され柚子胡椒をたっぷりかけるのがツウ。ゆず狩り体験等も企画。

平林

Hirabayashi Area

美しい棚田越しの富士山が絶景

後ろに新・花の百名山の櫛形山、ちょうど正面に世界遺産の富士山を望む平林地区。高低差のある棚田と併せて霊峰富士を望むことができ、田植え、稲穂、彼岸花の季節などは、遠方から多くの写真愛好家も訪れる。そば打ち体験、大根収穫体験、「桃太郎トマト」なども隠れ里の名物。





氷室神社

苔むした575段の石段、その大きさに思わず息を飲む御神木の大杉、ムササビも棲む森…。櫛形山中腹に鎮座する社は、宝亀元（770）年創建、元は真言宗鷹尾寺と称され神仏習合の霊地だった。後に武田家、徳川家の祈願所にも。霊験あらたかな神社で、神秘的な雰囲気が魅力的。敷地に生える大杉は樹齢1000年を超えるとされ、県の文化財に指定。



平林交流の里 みさき耕舎

地元特産品を使った食事が味わえる他、不定期に朝市が開催されており、地元の特産品などを求める方で賑わう。棚田での米作り体験や野菜の作付けなど地元住民とふれあいながら農業体験できる施設。



農林業体験宿泊交流施設「平林たはたの宿」

農林業体験ができる宿泊施設。農業や林業の体験をすることができない環境にある方が作業を体験し、自然の良さ、野菜などを育てる喜びや、食べる喜びを学ぶ場。平林地区を訪れた方が、農林業体験を通して、里山の四季の移ろいや平林の棚田などの豊かな自然環境、歴史文化を感じてほしいという願いを込めて、宿泊棟は樹木の名称から名付けられている。



櫛形山登山道

南アルプスの前衛山「櫛形山」で、標高2,052mの山頂へ最短で登れるルート。「池ノ茶屋登山口」を起点に原生林やお花畑を満喫できる。



増穂ふるさと自然塾

櫛形山のトレッキングやキャンプ、自然観察の拠点として利用され、自然を満喫できる施設。周辺を散策すると、稀少な生き物に出会えることも。

五開

Gokai Area

渓谷、温泉、郷土料理 桃源郷の趣きたっぷり

大柳川渓谷をさかのぼると、段々に秘境の雰囲気が濃くなり、富士川町の奥座敷「十谷集落」が見えてくる。「大柳川渓谷」の水音の響き、野鳥がさえずる深い山の緑にすっぽり抱かれ、郷土料理の「みみ」をいただく。紅葉の季節には、鮮やかなもみじと滝の眺望を堪能できる。喧騒を遠く離れて、ここは大自然の恵みを五感で味わえる特等席だ。





かじかの湯

山梨の日帰り温泉、甲州鰍沢温泉【かじかの湯】はゆったりとした時間が流れる山あいの温泉。紅葉・新緑と滝と吊り橋の美しい大柳川渓谷の入り口。



十谷古道

富士川町内には、かつて使用されていたが現在はあまり利用されておらず、当時のままの状態で残されているような道、いわゆる古道が残されている。新緑、紅葉の名所大柳川渓谷もそのひとつ。古道を散策をする事で、多くの発見があるかもしれない。



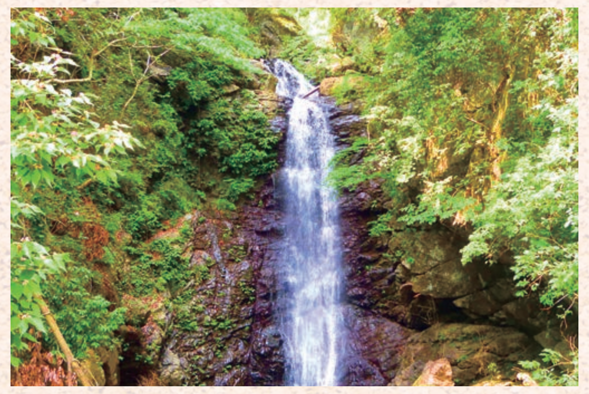
大柳川渓谷

珍しい階段状の竜神橋をはじめ観音橋、天淵の滝など、富士川町十谷地区を流れる大柳川渓谷は、迫力の渓谷を遊歩道から間近に堪能できる人気のトレッキングスポット。新緑、紅葉の名所。



つくたべかん

大柳川渓谷沿いの十谷集落の交流拠点。目玉は郷土料理「みみ」。小麦粉を練って農具の箕（み）の形にし具沢山の野菜と田舎味噌で煮こむ滋味あふれる逸品。大きな窓ごしの緑までご馳走だ。みみ教室もあり、鰍沢塩、味噌など土産も地域色豊か。



不動滝

国道52号から、十谷入口の信号を山側に曲がり5分ほど。駐車場から徒歩ですぐに滝にたどり着くことができる。岩から水が流れ落ちるさまを気軽に楽しめる空間になっている。











写真の番号は、マップ内の番号に対応しています。赤 誇れるもの 青 なにコレなもの

富士川町イラストマップ Trekking Guide



1 ポロ電
1932～1962年、甲府駅前駅と旧増穂町の甲斐青柳駅間を走った路面電車「山梨交通電車線」。愛称「ポロ電」。利根川公園で往年の姿を見学できる。



2 町営（日帰り）温泉
「かじかの湯」は大柳川が目の前、絆祝の展望、「まほらの湯」は8種類の湯が様々楽しめる。隈産ヒノキのバレルサウナも人気。



3 南明寺のすりこぎ
寺に身を寄せた徳川家康を敵からかくまうため、当時の住職が弟子4人と共に珠理をすりたて、その「すりこぎ」を寺宝として保存。



4 棚田（平林と眷米）
四季折々の棚田の景色から望む富士山。町内2つの地区で出会える県内有数の風景遺産。「つなぐ棚田遺産」に認定されている。



5 利根川沿いの桜
利根川沿いの利根川公園から春米まで一直線に続く桜並木が続く。川の上流からの景色もすばらしい。



6 天神中條天満宮のご神木とち木杉
ケヤキのご神木は木肌の良ぢわいに囲まれた姿のままやも守り神として親しまれる。五本杉は根が癒着した珍しい姿。



7 やまもとやの どら焼き
山梨でどら焼きといえばココというくらい評判。大粒の黒豆がたっぷり入った「種上」の他に数種あり。ふっくら生地との相性も抜群。



8 はくばく文化ホール（ますは文化ホール）
自然が豊かな広い庭園に囲まれたレンガ造りのホール。舞台公演の他にも体験講座や地域の様々なイベントを開催。



9 太鼓堂（民俗資料館）
明治9年開校の藤村式建築の旧尋米学校。パルコニー、ℓ°せん階段、最上階に太鼓堂のある珍しい近代洋風建築。当時の机や黒板、青い旧の人形「ヘルン・モナー」を展示。



10 妙善寺のおもかる石
皇室・徳川家康ゆかりの名刹。遥拝を試すと不思議な「神石」は、願い事を念じながら石を持ち上げて、その重さで運気を占える。



13 昌福寺の虫加持
300年来の秘法を伝承し有名。幼子の夜泣き、疳の虫を封じる。



14 富士川町のうなぎ
窑場の食文化が流れる富士川町は水も良く美味しい鰻で有名。老舗・名店が数軒。



15 道の駅富士川
国道52号沿い、中部横断自動車道増穂PA（下り線）から利用できるハイウェイオアシスの道の駅。富士川エリアの特産品やお土産が勢ぞろいするほか、地元素材を活かした食堂「富士川キッチン」には、みみ、ほうとうなど魅力的な定食メニューが充実。展望台やウッドデッキからの眺めは開放感抜群。レンタサイクルで町内を巡るのもおすすめ。



16 森の教室（山梨県森林総合研究所）
展示室、工作室、木のおもちゃ室などもあり、木や自然に触れながら森林について学べる。



17 最勝山最勝寺
天平20（748）年、聖武天皇の勅願寺として建立。県内屈指のお寺。4月から商売繁盛、受験、勝負事等のご利益で有名。鶏口と正観音菩薩像坂本は県指定文化財。



18 小室道
落居「鰍澤」の舞台となった身延山参詣の道。青柳の証菓寺から妙法寺、法論石を経て本山へと至る。今も当時の道標が所々に残っている。
（マップ上の番号は石碑のある地点）



19 神沢の山車
富士川沿道の窑場として栄えた江戸時代から伝わる豪華絢爛「山車巡行」が復活。町の有形文化財4台の「山車」は高さ4m、全長7m、伝統の「鰍沢ばやし」が囃され甲斐の小京都と呼ばれた華やかな振わいが蘇る。



20 松月堂のお菓子
創業100年余の老舗の看板菓子「栗せんべい」は添加物を一切使わない伝統の味。素朴な「山家焼」とともに山梨土産の定番。



21 舟運の歴史（小原屋原田商店塩蔵）
舟運の主な積荷は下り米、上りは塩で「鰍沢塩」と呼ばれ甲州一帯から信州まで運ばれた。商店の塩蔵には時の塩も残っている。



22 上北の共同水場
湧んだ水が湧き、90年開近く共同水場として守られている。お米とぎ、野菜洗い、井戸端会議…今も湧らかな人古き良き時が流れる地域の宝もの。



23 大法師公園の桜
富士山を望む山頂部を約2,000本の桜が彩り、3月下旬～4月上旬に開催される「大法師さくら祭り」が有名。山梨を代表するお花見の名所。



24 竹林堂のお菓子
「甲斐土丁「富士川バケーカステラ」「塩饅頭」など全国菓子博受賞の富士川町ならではの郷土銘菓がズラリ。



25 杉山江見堂のうちわ
国産の竹骨、手漉き和紙に草木染まるこだわりのうちわは風も心地よい。



26 富士川
日本三大急流の1つ、総延長128km、「富士川舟運」300年の歴史を今に伝える。「塩の華」では舟運の歴史を学ぶことができる。



27 禹之瀬
急流「富士川」の開削という大事業を今に伝える。両側に迫る山の間が「逆さ富士」に見える。



28 法論石（懸腰寺）
布教に訪れた日蓮聖人と地元の善智法印が法論した際、聖人が空中に縛り留めてみせた巨石。



29 小室山妙法寺
創建1300年の古刹を約1万株のあじさいが彩る6月下旬～7月上旬頃に「あじさい観賞ウイーク」を開催。日蓮聖人直伝「小室の毒消し秘妙丹」が伝わる。



30 ゆずの里（穂積のゆず）
香り高く、色は黄金色。富士山を見て育った穂積のゆずは格別。山里が小さな太陽で輝く秋の映画郷。ゆずうどん、ゆず胡椒など加工品も自慢。ゆずの最盛期の11月には、「ゆずの里まつり」も開催。



31 天狗社の天狗像
門前で大きな天狗の像が出迎える、地元ではパワースポットとして有名な神社。



32 いぼ石
笹笥地区の三枝川沿いの不思議な大岩。小さな穴に溜まった水をつけるとイボが取れるといわれる。



33 八雲池
標高920mの山上湖（用水池）。自然が豊かで、5月中旬にはレンゲツツジや藤の花が見事。



34 ダイヤモンド富士
ダイヤモンド富士は、太陽の軌道により富士山頂に太陽が重なり宝石のように輝く現象。特に高下地区では冬至から元日前後にご来光のタイミングで見られる特別な絶景。「日出づる里」と呼ばれている。



35 棚形山・原生林
樹齢300年のカラマツの巨樹をはじめ貴重と呼ばれるサルオガセが枝垂れる原生の森は神秘的でパワーがいっぱい。日本最大級のカラマツやダケカンバが見られる。



36 男根岩（棚形山）
登山道沿いにある奇岩に子どものいない二婦人が祈れば子どもを授かるという言い伝えがある。



37 棚形山
岡山植物のお花畑や神秘的な原生林が広がる標高2,052mの山頂付近まで手軽に登れることで人気の山。



38 氷室神社
575段の石段を登った先は、御神木の千年杉（県指定天然記念物）がそそり立つ荘厳な空間。誰もが神聖さを感じるパワースポット。



39 増穂登り窯
富士山を望む景観には芸術家「由田淑寿夫」考案の八方窯はじめ8種の窯窯があり、今も完全窯焼成ができる。



40 平林からみる富士山（みさき耕舎）
棚田の風景が残る平林地区から正面遥かに望む富士山は特別な美しさ。標高が高く日々移りゆく景色は一期一会。



41 平林のももの木トマト
標高800mで路地栽培し完熟でお得ぐれるため甘みの強い美味しいトマトとして人気。



42 忍沢養殖場のサツキマス
かつて富士川で漁獲されるは全国的に希少な幻の「サツキマス」の復活を目指し養殖・放流されている。

43 レールバル351
富士川沿いの鉄道模型専門店。リアルなジオラマ付きレイアウトは日本最大級。鉄道ファンでなくとも必見。

44 はじかみ（しょうが）の生産地
鹿島地区特産の「はじかみ（しょうが）」は富士川舟運の時として近隣窑場や江戸に運ばれ尊ばれた。味・香りに優れた原種はやや希少。

45 大柳川のマンモス岩
「象岩[マンモス岩]」、大柳川中流域の中州に、約3mほどの巨大な骨灯が現れる。今にも動き出しそうで、なかなかの迫力。

46 五開簡易郵便局
昭和16年建築の今なお現役の郵便局舎。洋館風のレトロな外観が可愛らしく、年賀状のCMにも登場した。

47 十谷地区郷土料理みみ
小麦粉を鹿長の貨（みみ）の形に成形し根菜などと味噌で煮込んだもの。つるもち食感。甲州ほうとうとは別の味わい。こちらは祝祭の日のご馳走。

48 大柳川渓谷
小原屋原田商店は、店蔵、塩蔵、油蔵、文庫蔵、新座敷の5棟が歴史的景観に寄与している建造物であることから、1999年6月7日に文化庁の登録有形文化財に登録された。
蔵の中には、明治時代の品が数多く残り、当時の塩もそのまま残っている。

舟運 Shuun Area

日本三大急流「富士川」に舟運の歴史をたどる

江戸時代に重要な交通路として、物資や人を乗せた高瀬舟が盛んに行き交った「富士川」。駿河（静岡）と甲斐（山梨）を結んだ「富士川舟運」。その重要な拠点として栄えたのが「青柳宿」と「鰍沢宿」。徳川家康の命による「富士川開削」から約400年、産業、文化、食の歴史をじっくり辿れるエリア。

明神町七面堂
宝暦5年（1755年）、鰍沢村により創建。長い階段を登った山中に河岸を見下ろすように建てられている。舟運の守り神として船頭や乗組員、その家族に深く信仰されていた。本殿内部の金箔や12支にちなんだ彫刻が往時の村の隆盛ぶりを物語る。

富士水碑
京の豪商・角倉了以の富士川開削の功を称え、これによって甲信駿の人々が大いに便益を得たことを顕彰し、通船から190年経った篤政9年（1797年）12月にこの碑を建てた。
碑の撰文は市川代官所役人・関川芥舟、書は武蔵の人・藤原知赫、刻は神慶雲による。碑文は富士川が笛吹・釜無・荒川の三川よりなることに始まり、その開削が至難であったこと、その便益は計り知れないものがあることや、角倉家の家系、了以の人となりをあげている。

小原屋原田商店
小原屋原田商店は、店蔵、塩蔵、油蔵、文庫蔵、新座敷の5棟が歴史的景観に寄与している建造物であることから、1999年6月7日に文化庁の登録有形文化財に登録された。
蔵の中には、明治時代の品が数多く残り、当時の塩もそのまま残っている。